

水害ハザードマップ

地域避難所(水害時)一覧

※地域避難所は、状況に応じて特定の箇所を開設します。

番号	施設名	所在地	地図索引
1	駒場小学校	駒場3-11-13	C-2
2	第一中学校	大橋2-11-1	C-2
3	菅刈小学校	青葉台3-3-26	D-3
4	東山中学校	東山1-24-31	D-3
5	東山小学校	東山2-24-25	C-3
6	烏森小学校	上目黒3-37-27	D-3
7	めぐろ学校サポートセンター	中目黒3-6-10	E-4
8	中目黒小学校	中目黒3-13-32	D-4
9	大島中学校	下目黒3-23-18	E-5
10	不動小学校	下目黒6-11-35	D-5
11	上目黒小学校	五本木1-12-13	D-4
12	油面小学校	中町1-5-4	D-5
13	目黒中央中学校	中町2-37-38	D-4
14	五本木小学校	五本木2-24-3	C-4
15	鷹番小学校	中央町1-20-26	D-5
16	碑文谷体育館	碑文谷6-12-43	C-5
17	月光原小学校	目黒本町4-15-3	D-6
18	第七中学校	碑文谷1-1-33	D-6
19	碑小学校	碑文谷1-18-2	D-6
20	原町小学校	原町2-18-12	D-7
21	第九中学校	洗足1-29-26	D-7
22	第八中学校	碑文谷4-19-25	C-6
23	大岡山小学校	平町2-3-1	C-7
24	中根小学校	緑が丘1-1-1	B-7
25	第十一中学校	緑が丘1-8-1	B-7
26	緑ヶ丘小学校	緑が丘2-13-1	B-7
27	宮前小学校	八雲3-13-21	A-7
28	めぐろ区民キャンパス	八雲1-1-1	B-6
29	八雲小学校	八雲2-5-1	B-6
30	第十中学校	八雲5-2-1	A-6
31	東根小学校	東が丘1-20-1	A-5



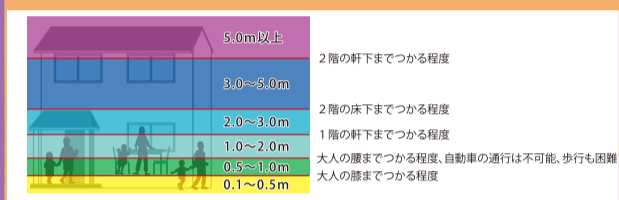
この水害ハザードマップは、大雨による河川の増水や下水道処理能力を超える流入により水があふれた場合、「城南地区河川流域浸水予想区域図(平成30年12月東京都作成)」に基づき、浸水する区域やその程度、避難所を示し、区民の皆さまの避難などに役立つように作成したものです。

「想定し得る最大規模の降雨」(総雨量690ミリメートル、時間最大雨量153ミリメートル)があった場合に、シミュレーションにより予測される浸水状況を基に作成しています。

浸水の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況、建物の構造など様々な状況によって変わることもあります。したがって、大雨が降ると必ずこの地図が示す区域に浸水があるということではありません。また、浸水の表示が無くても、状況によっては浸水することもありますので、十分ご注意ください。

浸水したときの水の深さは、一辺が10メートルのメッシュ(区画)単位で、水深はメッシュ内において最大の水深となる地点の色で表示しています。一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水の深さが大きくなり、注意が必要です。また、河川から離れていても青色・水色・緑色で示されている場所では、地盤が低いために、浸水したときの水の深さが大きくなるので注意してください。

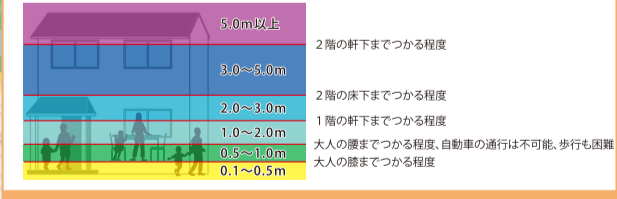
浸水深の目安



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク区分)	地域避難所(水害時)
5.0m以上	隣接区の避難所(区境から500m以内)
3.0~5.0m	広域避難場所
2.0~3.0m	土のう設置場所
1.0~2.0m	区役所
0.5~1.0m	土砂災害警戒区域等
0.1~0.5m	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域
	家屋倒壊等氾濫想定区域
	目黒区地域防災計画に定められた目黒川洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域および高潮浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設
	消防署・消防出張所
	警察署・交番等
	防災行政無線
	水位観測所

浸水深の目安

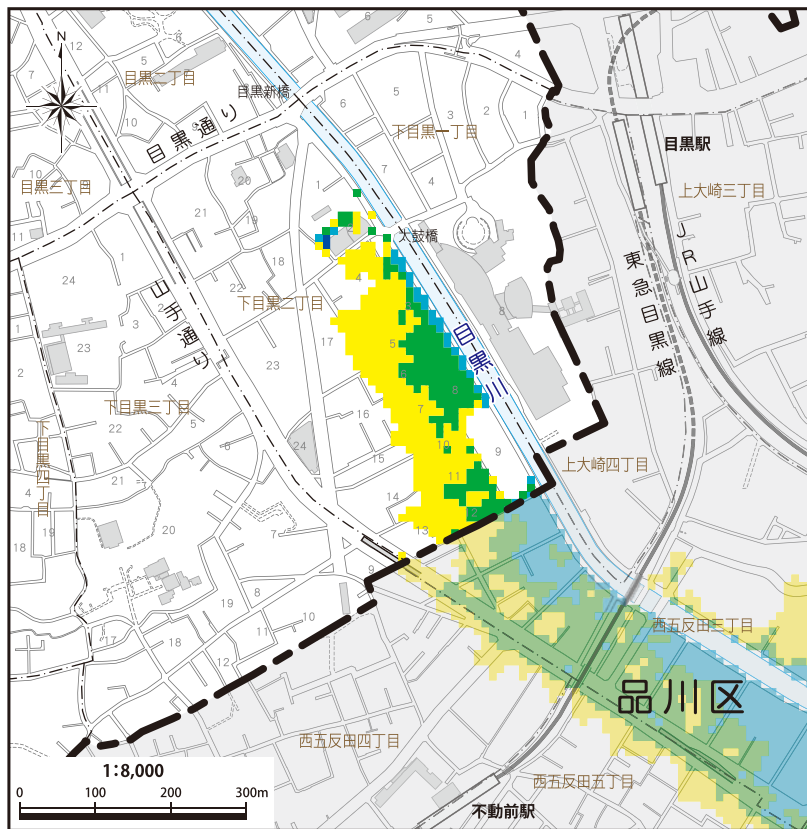


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク区分)	地域避難所(水害時)
5.0m以上	隣接区の避難所(区境から500m以内)
3.0~5.0m	広域避難場所
2.0~3.0m	土のう設置場所
1.0~2.0m	区役所
0.5~1.0m	土砂災害警戒区域等
0.1~0.5m	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域
	家屋倒壊等氾濫想定区域
	目黒区地域防災計画に定められた目黒川洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域および高潮浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設
	消防署・消防出張所
	警察署・交番等
	防災行政無線
	水位観測所

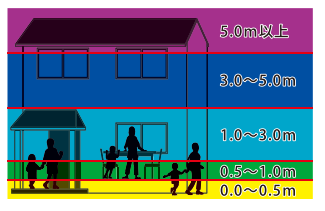
高潮浸水想定区域図（浸水深）

この図は、東京湾沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が目黒川から発生した場合に、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さを表示した図面です。



凡例

- 5.0m以上
- 3.0~5.0m
- 1.0~3.0m
- 0.5~1.0m
- 0.0~0.5m



【作成主体】

東京都
(港湾局、建設局)

【作成年月日】

平成30年3月30日

【作成の前提となる高潮】

上陸時中心気圧910hPa、
最大旋衝風速半径75km、
移動速度73km/hの台風による高潮

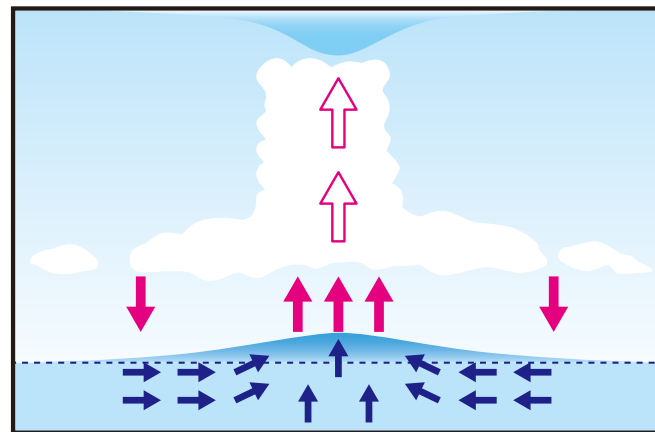
高潮の発生イメージ

高潮発生の主な要因としては、以下の2つを挙げることができます。

1. 気圧低下による海面の吸い上げ

台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、周囲の空気は海面をおしつけ、中心付近の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。

気圧が1ヘクトパスカル (hPa) 低くなると、海面は1センチメートル上昇します。



2. 風による吹き寄せ

台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。水深が浅いほど、風の吹き寄せ作用がよく働き、高潮が発達しやすくなります。

